



2018年(平成30年)10月1日発行(第67号)

道農連 2018年9月の月間活動ピックアップ

HP <http://donouren.sakura.ne.jp/> ☎011-241-5416

胆振東部地震・台風21号の農業被害に係る緊急要請を実施

西原正行道農連委員長、中原浩一書記長は9月26日、胆振東部地震及び台風21号による農業被害について、自民党の藤木眞也農林水産部会副会長など農林関係の国会議員をはじめ、立憲民主党の枝野幸男代表や国民民主党の玉木雄一郎代表、災害対策の担当である農水省大臣官房文書課長に対し、激甚災害の指定など復旧に向けた迅速な対応を求めて緊急要請した。要請では、胆振東部地震と併せて台風21号も激甚災害に指定することを求めるとともに、災害復旧への万全な予算の確保や次年度以降も営農が継続できるため、早急に被災農業者への支援策を講ずることなどを要請した。

なお、農業被害では9月4日から5日に上陸した台風21号の強風などにより、農作物の倒伏や農業用ハウスの損壊などが発生した。また、6日の胆振東部地震による大規模な停電により、農産物の集出荷ができず、特に生乳は廃棄を余儀なくされる事態に陥った。このため、生産現場からは次年度の営農継続に向け、早急に農地や農業用施設等の復旧対策を求める声が高まっていたことから、緊急に要請行動を実施した。

第3回米・水田農業対策委員会を開催

道農連は9月14日、第3回米・水田農業対策委員会(大久保明義対策委員長)を開き、秋闘に向けての対策課題や対策方針を確認し、政策提言決定に向けての具体的なスケジュールを示した。また、「平成30年産米の概算金や北海道米の今後の販売戦略」について、ホクレン米穀部との意見交換を実施した。

対策課題については、引き続き春闘から対策を講ずる項目の他に、30年産米を取り巻く情勢に対応した対策も検討する。

今後は、第5回執行委員会に組織討議案を提示した後、第4回米・水田農業対策委員会で政策提言事項を最終決定し、11月中旬に中央行動を実施することとした。

第2回各地区事務局会議を開催

道農連は9月14日、第2回各地区事務局会議を開催し、胆振東部地震における被害状況などを報告するとともに、「真の農政改革増補版」について討議した。

アジア・アフリカ支援米「収穫祭」を開催

道農連や連合北海道等で組織する食・みどり・水を守る道民の会(高倉司会長)は9月29日、由仁町の境田農場で「アジア・アフリカ支援米収穫祭」を開催した。6月の「田植祭」で作付けした水田などに生産者や道民の会会員らとその家族40名が参加し、稲刈りや脱穀作業などを行った。

9月の活動記録(上記以外)

- 2日 合成洗剤追放北海道連絡会PR活動
- 3日 道てん菜協会生育現地調査(～4日)
- 19日 食に関する学習・試食会打合せ
- 26日 平成30年度税制改正の使い方
- 27日 道農業再生協議会・第2回水田部会
米の生産コストに関する中央農試との意見交換

10月の活動予定

- 3日 道農連女性書記の会定期総会・研修会(～4日)
- 4日 第3回てん菜・てん菜糖合理化検討委員会
- 5日 道農業青色申告会事務局会議
- 10日 三役会議、第5回執行委員会
道内食材評価に向けた学習・試食会
- 30日 第4回米・水田農業対策委員会(予定)
- 31日 第3回畑作・野菜対策委員会(予定)

◎詳しくは、「北海道農村新聞」(年間購読料1,800円・税込)をご覧ください

お申込み・お問い合わせは道農連事務局(TEL:011-241-5416)